

令和5年度 事業報告書

自 令和5年 4月 1日
至 令和6年 3月 31日

特定非営利活動法人 地球学校

I. 総括

地球学校はNPOになって23年目の年でした。5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが変わり、マスクの制限がなくなるとともに、海外からの外国人が急増しました。それに伴う変化は各事業であったものの、オンライン生活の良さは継続する一年でした。活動資金となる助成は1つで、「ベネッセこども基金」助成3年目の最終年でした。外部の協力を得てオンライン学習教材のコンテンツが増えるとともに整備されました。

日本語教室では、プライベートレッスンはオンラインが主流でした。毎週土曜日午後開催のKANJIカフェや新規のクラスレッスン、短期レッスンでは対面が戻りました。2回開催したイベント「にはほんご×しゃべりば」も、7月・1月ともに対面で開催しました。日本語教師のための勉強会は、ほぼ毎月開催し、各自の学びとともに教師間の交流にもなっています。レッスン報告や、スタッフの事務作業など、クラウドの活用が日常になり、データ管理やセキュリティ強化が進みました。横浜刑務所内での外国人受刑者への日本語レッスンも継続中です。

地球っ子教室では、昨年より多くの子どもたちが参加しました。特に秋以降は新規の中学生の申し込み者が増え、土曜教室ではグループ学習が多い日もありました。夏休み教室は5日間、春休み教室は2日間、今年も開催しました。イベント「漢字王決定戦」は年2回、コロナ前と同様に対面教室のみで開催できました。新しい動きとして、保護者向けに教室の様子を伝える「もぐらん通信」(中国語翻訳付)を毎月発行しています。新支援者対象の説明会も実施しました。

多文化交流事業は、今年度も「かながわ市民活動フェア」に参加しました。会場対面型フェアは11月19日(日)に参加し、かながわ県民センター1階で参加者と交流しました。WEBフェアは11月17日~12月16日に特設サイト上で開催されました。12月の寄付月間では、継続して日本大通実行委員会に参加し、地球学校としてはオンラインで4回目となるゲーム漢字王決定戦を開催しました。海外からの参加者も増え、多国籍なイベントとなりました。NPO内部の毎月の交流会は、コロナ後もオンライン開催を軸としつつ、総会時はランチ交流会を対面で開催しました。

ベネッセこども基金による助成事業は3つの重点実行項目において、新たな教材の作成を進める一方で、今まで作成してきたオンライン教材の確認作業と整備を進めました。2024年5月の一般公開に向けて準備中ですが、公開後も継続的に更新していくサイトにします。助成事業とは別に、有志が参加できる「ファンドレイジング研修」にも参加しました。

このように、アフターコロナの初年度は、対面でのイベントや教室が戻りつつもオンラインの利点を継続した一年でした。当期の経常収支は結果的に少し赤字となりましたが、両事業部ともに新しいことにも活発に取り組んだ結果だといえそうです。また、地球っ子教室が20周年を迎えたことにより、寄付金収益が増えたことも今年らしい成果でした。社会の変化に柔軟に対応し、外部とのつながりを大切にしつつ、内部体制が新しく動き始めた一年にもなりました。

II. 事業の成果

日本語教室では、今年度の登録数は 67 名、16 の国と地域の学習者が日本語を学びました。新規学習者は 37 名、法人向けレッスンは 2 組 11 名でした。学習者は大人に限らず、児童生徒は 4 名います。1 年間の総学習時間数は約 1490 時間と前年度より減少しましたが、対面レッスンの人数は増加しています。日本語教師の登録は 37 名（新規 0 名）、うち 25 名がレッスンを担当しています。教師対象の勉強会は、定例ミーティング後の交流会と教室の単独開催を併せて計 11 回行いました。日本語能力試験（JLPT）は 7 月・12 月の 2 回実施され、延べ 12 名が受験しましたが、合格者は 3 名でした。イベント「にほんご×しゃべりば」は計 2 回、7 月 9 日に横浜市民防災センターで「防災体験ツアー」、1 月 28 日に県民センターで「お正月あそび」を開催しました。参加者は日本語の学習者と日本語教師で、延べ 28 名でした。

地球っ子教室では、土曜教室は 4 月 8 日から 3 月 9 日まで計 35 回、対面とオンラインで同時開催しました。時間帯は、対面教室は 13:15～4:30、オンライン教室は 13:30～14:30 です。夏休み教室は 7 月と 8 月合わせて 5 日間、春休み教室は 3 月に 2 日間、開催しました。年間の子どもの登録数は 61 名で、幼児 3 名・小学生 42 名・中学生 14 名・既卒 2 名でした。子どもたちがつながる国は、多い順に中国・ネパール・フィリピン・カナダ・オランダ・アメリカ・インド・日本でした。土曜教室の延べ参加人数は、子どもは 767 名で前年比 1.5 倍、支援者は 518 名で前年比 10%増でした。支援者の登録数は 45 名で、うち 15 名が新規でした。社会人 36 名、大学生 4 名、高校生 5 名です。教室活動としての内部イベント「漢字王決定戦」は計 2 回、10 月（参加 22 名）と 3 月（参加 21 名）に土曜教室内で、対面形式のみで開催しました。

多文化交流事業では、恒例の「かながわ市民活動フェア」はかながわ県民センターで開催（ウェブサイトでも開催）され、11 月 19 日（日）の地球学校のブースには 9 名が来場されました。12 月の寄付月間は今年もオンラインでイベント「漢字王決定戦」を開催しました。参加者は計 39 名で、タイ、バングラデシュ、ニカラグア、グアテマラ、メキシコ、USA、オーストラリアや他団体で日本語を学習している子どもの参加がありました。地球学校主催の会員交流会は、対面とオンラインを併用し、延べ 219 名が参加しました。5 月の総会后ランチ交流会は対面 16 名、6 月の事業部別交流会は対面 9 名・Zoom 21 名（計 30 名）、1 月の新年交流会は Zoom 17 名でした。

ベネッセこども基金の助成による事業では、3 つの重点実行項目を実施しました。①「オンライン学習教材」（13 名参加）では国語（8 名）・算数（5 名）の 2 グループに分かれ毎月 1 回ミーティングを重ねながら、「教科・日本語」に特化した問題作成に取り組みました。3 回開催した講座には延べ 49 名が参加しました。②「物語の作成」では、13 名で 3 つの物語を各 2 種、やさしい日本語にしました。「物語のイラスト」は、学校法人岩崎学園内で発足したプロジェクト KIMaaG（キマーグ）に依頼し、オリジナルの絵を学生 3 名が描いてくれました。③「イベント漢字王決定戦」では、年 2 回の内部イベントの問題作成と進行を 7 名が、3 年間の作成問題のポイント等の整理を 1 名が行いました。「ゲーム漢字王決定戦」では、＜仲間が集まれ＞は既存の部首編に新規で画数編を追加し、＜世界の文字＞は既存の 4 言語を含め計 38 言語を作成しました。今年度の新規コンテンツ＜神経衰弱＞は、全 24 ジャンルの問題を作成しました。ゲームのプログラムは、継続して岩崎学園情報科学専門学校の学生グループ MakeIT により地球学校公式サイト内に公開しました。各重点実行項目の成果は「もぐらんワーク」とネーミングし、公式サイトと同時に専用サイトにて継続的に公開していく予定です。

Ⅲ 事業内容

1. 日本語教室に関する事業

- ・内容 日本語上達を希望する学習者への日本語指導、日本語学習支援
- ・日時 通年 1490 時間
- ・場所 かながわ県民センター、地球市民かながわプラザ、オンライン
- ・従事者人員 日本語教師資格を有する正会員 37 名
- ・受益対象者 日本語学習を希望する母語が日本語ではない学習者 67 名
- ・支出額 2,364,353 円

2. 地球っ子教室に関する事業（外国人児童生徒への支援）

- ・内容 外国につながる子どもたちの学びを支える教室の開催
- ・日時 通年の土曜教室（35 回）・夏休み教室（5 日間）・春休み教室（2 日間）
漢字王決定戦（2 回）、運営委員会（適宜）、新支援者対象説明会（1 回）
- ・場所 かながわ県民センター、オンライン
- ・従事者人員 会員・支援者（一般・大学生・高校生）延べ 518 名 ※土曜教室
外部運営委員 3 名
- ・受益対象者 外国人児童・生徒 延べ 767 名 ※土曜教室
- ・支出額 871,238 円

3. 多文化交流に関する事業

- ・内容 内部・外部交流イベント
- ・日時 寄付月間イベント（1 回）、市民活動フェア（1 回）、会員交流会（11 回）
- ・場所 かながわ県民センター、オンライン
- ・従事者人員 担当スタッフ 6 名
- ・受益対象者 会員、各教室の学習者・子ども、日本在住外国人、日本人 延べ 267 名
- ・支出額 33,444 円

4. ベネッセこども基金の助成による事業（3 年計画の 3 年目）

- ・内容 外国につながる子どもたちの日本語学習を支える教室のオンライン化事業
①オンライン学習教材作成と内部従事者向け講座
②オンライン音読用「ものがたり」教材作成
③イベント漢字王決定戦の開催とゲーム漢字王決定戦の Web 公開
- ・日時 通年
- ・場所 オンライン、かながわ県民センター、地球市民かながわプラザ
- ・従事者人員 会員・支援者・外部専門家 77 名
- ・受益対象者 地球っ子教室及び一般の外国人児童生徒とその支援者
- ・支出額 3,387,333 円